

教育部 函

地址：臺北市中山南路5號

聯絡人：杜丞左

電話：02-7736-5641

Email：tuchintel002@mail.moe.gov.tw

第 / 層決行

受文者：國立暨南國際大學

發文日期：中華民國105年9月14日

發文字號：臺教文(一)字第1050128154號

速別：普通件

密等及解密條件或保密期限：

附件：附件1_駐日本代表處教育組來函、附件2_候選人推薦表(1050128154_Attach1.pdf、1050128154_Attach2.pdf)

主旨：函轉駐日本代表處所送有關日本經濟新聞社邀請各界推薦第22屆「日經亞洲賞」(Nikkei Asia Prizes)申請說明及「候選人推薦表」，請惠予協助宣傳及推薦，請查照。

說明：

- 一、依據駐日本代表處教育組本(105)年9月9日日教組字第1050000220號函辦理。
- 二、本獎項內容重點詳如附件1。為利推薦候選人角逐該獎項，請貴校協助宣傳及推薦事宜，並於本年10月12日以前將「候選人推薦表」(附件2)連同相關資料寄達駐組，俾轉致日方主辦單位辦理。

正本：各公私立大專校院(含大學系統)

副本：駐日本代表處教育組、本部國際及兩岸教育司

2016-09-14
16:07:36

擬辦：

- 一、文登載校首頁及文件公告系統
- 二、有意申請者請於10月7日(五)將資料送國際處，詳閱申請辦法。
- 三、文錄案彙編。

秘書室 徐朝堂
專門 1050914林榮脩
1050914助理研究員兼
國際處國際事務組組長 洪聖豪教授兼國際及兩岸事務處
國際事務組組長 楊武勳
0929國立暨南國際大學
蘇玉龍
1050929



1955



駐日本代表處教育組 函

地址：108日本國東京都港區白金台5-20-2
傳 真：+81-3-3280-7925
聯絡人：王鴻鳴秘書
電 話：+81-3-3280-7836
電 郵：japan@mail.moe.gov.tw



受文者：教育部

發文日期：中華民國105年9月9日
發文字號：日教組字第1050000220號
速別：最速件
密等及解密條件或保密期限：
附件：如文(未命名1_0000220A00_ATTCH1.pdf)

主旨：檢送日本經濟新聞社函請推薦第22屆「日經亞洲賞」(Nikkei Asia Prizes)申請說明及「候選人推薦表」一份，敬請轉知大專校院，請鑒核。

說明：

- 一、依據日本經濟新聞社「日經亞洲賞」秘書處本(105)年9月來函辦理。
- 二、該獎創設於1996年，主要目的為表揚對於亞洲區域永續發展具有卓越貢獻之個人或團體(以居住於日本以外之亞洲各國人士為對象)。獎項分為「經濟・產業」、「科學・技術」及「文化・社會」等3領域，得獎人可獲得獎狀、日幣300萬圓獎金及參加每年5月在東京舉行之頒獎儀式，其成就與貢獻亦將於該社所屬之相關平面及網路媒體進行介紹及報導。
- 三、為利該獎項之辦理，擬請候選人之「候選人推薦表」務必經鈞部或候選人國內任教學校名義提出，自我推薦者概不受理；並請於本年10月12日以前將「候選人推薦表」連同相關資料寄達本組，俾轉致主辦單位辦理。



正本：教育部

副本：2016-09-09 13:58:42

公文交換章

裝

訂

94

線

3/9



日経アジア賞

NIKKEI ASIA PRIZES

受賞候補者推薦のガイドライン

▼目的

「日経アジア賞」は、日本経済新聞社が1996年、「日本経済新聞」の創刊120周年を記念して創設しました。アジアの発展と生活水準の向上に貢献した人々や団体に光をあてることを目的にしています。

▼対象部門

以下の3部門ごとに毎年1名または1団体に贈ります。

- ・経済部門 Economic and Business Innovation
- ・科学技術部門 Science and Technology
- ・文化・社会部門 Culture and Community

▼アジアの範囲

受賞資格があるのは日本を除く以下のアジア地域の個人・団体です。原則としてアジア地域に住み、アジアで業績をあげている方が対象です。日本人および日本の団体は受賞対象からはずしています。

- ・東アジア（朝鮮半島、中国など）
- ・東南アジア（インドシナ、ASEAN加盟国など）
- ・南西アジア（インド亜大陸の国々）
- ・太平洋地域の独立国（豪州、ニュージーランドは除きます）

注：一年のうち半分以上アジア地域に住んでいる人が対象です。日本に居住している人も含みます。

▼賞金

受賞者には、それぞれ賞状と、副賞として300万円の賞金を贈ります。また、受賞者（団体・組織の場合はその代表者）を東京で開く表彰式に招待します。

▼推薦者

ネットなどを通じ幅広く募集しているほか、内外の識者、アジアについての専門家に依頼しています。推薦者の氏名は公表しません。自薦は認めていません。

▼審査

アジアに詳しい日本の各分野の専門家で構成する審査委員会が審査しています。



▼発表

受賞者は毎年4～5月に「日本経済新聞」、日経のインターネット・サイト「日本経済新聞電子版」、英字媒体の「Nikkei Asian Review」などで発表します。

▼表彰式

表彰式は毎年5月に東京で開きます。

▼各部門の選考対象

いずれの分野の賞も、①受賞者のアジアの発展と繁栄への貢献度②世界的に見た活動の獨創性、獨自性③話題性を総合評価して選びます。

【経済部門】

経済、産業分野でアジアの発展と安定に功績のあった個人や団体を表彰します。

具体例：

- ① 革新的な経営手法などにより国や地域の発展、産業育成に貢献した企業家
- ② 経済改革や経済の地域連携・協力の促進などを通じて、経済の発展や安定に貢献した政策担当者
- ③ 経済格差の是正や社会的なニーズの充足などに貢献した人——など

【科学技術部門】

科学技術研究や技術開発・改良などで社会的なインパクトのある成果をあげた個人や団体を表彰します。

具体例：

- ① バイオやゲノム、IT、医療など科学技術研究で成果をあげ、社会に貢献した研究者
- ② 環境分野での革新的な技術開発や、環境保全への地道な取り組みで成果をあげた人

【文化・社会部門】

文化の発展への貢献を通じ、社会に影響を与えている個人や団体を表彰します。

具体例：

- ① 音楽、美術、文学などの分野で顕著な活躍をし、社会的に注目される人
- ② 今日の視点から、歴史遺産や伝統文化などを掘り起こし、文化の再評価に貢献している人
- ③ 創造的な文化活動を側面支援し、社会への浸透に貢献している個人や団体

※例には直接当てはまらなくても賞の趣旨にふさわしい候補者は歓迎します。

<選考に当たっての留意点>

- 1、 原則として過去10年以内に成し遂げた業績、成果を対象とします。
- 2、 現役として活躍している方が対象です。進行中の研究等も対象となりますが、業績・成果の評価がある程度定まっている方をお願いします。
- 3、 すでに著名な方だけでなく、地道な活動を通じて人々の共感を呼ぶような実績をあげている方の発掘を歓迎します
- 4、 ノーベル賞や京都賞などの受賞者は避けてください。

第 22 回「日経アジア賞」
受賞候補者 推薦用紙

Nikkei Asia Prizes - Nomination Form

*以下の各欄にご記入のうえ、2016 年 10 月 31 日(月)までにお送りください。

インターネットでも受賞候補者の推薦を受け付けています。
推薦の書式は(<http://www.nikkei-events.jp/asiaprizes/guideline/index.html>)にあります。
必要事項をご記入のうえ送信してください。
また、過去の「日経アジア賞」につきましては、
<http://www.nikkei-events.jp/asiaprizes/index.html> をご参照ください。

【受賞候補者について】

・どの部門の候補者をご推薦になりますか。(該当する部門をチェックして下さい)

- ☐ 経済部門 Economic and Business Innovation
☐ 科学技術部門 Science and Technology
☐ 文化・社会部門 Culture and Community

・受賞候補者は個人ですか、団体ですか。(該当する項目をチェックして下さい)

- ☐ 個人 Individual
☐ 団体・組織 Group/Organization

◇ 受賞候補者(団体)名(ローマ字と日本語の両方をお願いします)

☐ Mr. ☐ Ms. ☐ Prof. ☐ Dr. (該当する項目をチェックしてください)

ローマ字: _____

日本語(読みまたは漢字表記): _____

◇ 受賞候補者の職業または所属組織・役職(個人推薦の場合のみ)

ローマ字: _____

日本語(読みまたは漢字表記): _____

◇ 受賞候補者の国籍: _____



- ◇ 受賞候補者を推薦した理由を、アジアの成長と繁栄への貢献度、世界的に見た活動の独創性、独自性、そして話題性にふれながら、500～1000 字程度でお書き下さい。



- ◇ 受賞候補者の略歴、生年月日、受賞歴などをお書きください。「団体・組織」を推薦する場合は組織の概要、主な活動、略史などをお書き下さい(1500字以内でお願いします)。

- ◇ 受賞候補者についての記事、履歴書の原本、論文、論文リストなどがあれば、E-mail (asia2@nex.nikkei.co.jp)もしくは郵便でお送り下さい。また、受賞候補者についての情報が得られるウェブサイトがあればアドレス(URL)を以下にお書きください。

【ご推薦者について】(海外にご在住の方は、お名前以外の欄はローマ字でお願いします)

お名前: ☐Mr. ☐Ms. ☐Prof. ☐Dr. (該当する欄をチェックしてください)

(日本語) _____

(ローマ字) _____

所属組織:
(ご職業) _____

お役職: _____

ご連絡先住所: _____

Tel.: _____

Fax.: _____

E-mail: _____

第22回日経アジア賞 受賞候補者推薦お申し込みの締切は2016年10月31日(月)です。
お忙しいところ、ご協力をいただき、誠に有り難うございました。

◇推薦用紙、資料などの送付先、お問い合わせ先:

郵送先: 〒100-8066

東京都千代田区大手町1-3-7

日本経済新聞社グローバル事業局内

「日経アジア賞」事務局

E-mail: asia2@nex.nikkei.co.jp

TEL:03-6256-7178 FAX:03-6256-7854

Nikkei Asia Prizes Secretariat

c/o Nikkei Inc.

1-3-7, Otemachi, Chiyoda-ku

Tokyo 100-8066

JAPAN